

# ヤマハニュース

YAMAHA NEWS NO.102

'71 **12** DEC.



**特集**

第18回東京モーターショー

**ワズツ**と話題集中の**ヤマハ**

# 12

月のカレンダー

1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13 14 15 16

歳末商戦たけなわ  
お店では……

大雪

年賀状の準備を  
お客さまの名簿整理を

きょうから  
年賀郵便特別扱い

17 18 19 20 21 22 23 24 25 26 27 28 29 30 31

年賀状は  
もう書きおわりましたか

冬至

クリスマス・イブ

クリスマス

年賀郵便特別扱締切り  
官庁御用納め

年越し、大はらい



一年の締めくくり、十二月

師も走るといわれるほど

何かとせわしい年の暮れです

積雪地のお店では

スノーモビルの納入や

二輪車の格納など

いろいろな手をかけることも

多いでしょう

これからは寒さも

きびしくなるいっぽう

風邪をひかぬよう

健康には十分に気をつけて

暮れの商戦にたっさわってください

需要の創造は繁栄への道しるべ

新しいモータースポーツの世界を

ひらくヤマハ

お店の71年はいかがですか

最後の締めくくりの一カ月です

内容で!  
人気で!

いちばん

18th TOKYO MOTOR SHOW

2サイクル  
4気筒

水冷  
燃料噴射



二輪車壇のハイライト、文字どおりショーの主演を演じた「ヤマハスポーツGL750」参考出品車。4気筒、水冷、2サイクル燃料噴射。ヤマハの新しいエンジン技術の一端を示した作品だ

内容で!  
人気で!  
いちばん

「新しい発見 2&4」をテーマに、ヤマハの高度な巾広い技術を展開して話題をさらったのが今年のヤマハコーナーです。  
充実した各種の製品も、楽しいディスプレイのもとに紹介、若い人はもとより、家族連れの人など、あらゆる方々にヤマハの名を、よく印象づけて好評でした。



ヤマハオリジナルのバギーを装飾に、ともすると見失なわれがちな自然への対話を試みた。小さく大きなミニ

18th TOKYO MOTOR SHOW

# フーツと話題集中のヤマハ

新技術に目を見はる  
人、人、人……

2サイクル  
4気筒

水冷  
燃料噴射

秋の恒例の行事として、モーターファンの最大の話題となる東京モーターショーは今年も晴海埠頭国際貿易センターを会場に盛大に開かれました。

十月二十九日のチャリティショーを皮切りに十一月十一日までの十四日間に動員された観客は百三十五万余。自動車をとりまく環境はきびしくなるいっぽう、車に対する人気はやはり高く、とくに二輪車館は若い人たちで連日押すな押すなの盛況ぶりでした。

その中で、とくべつ注目をあつめたのはヤマハコーナーで、ヤマハ技術の一端を示したGL七五〇cc（参考出品）をはじめ、充実さをいよいよ増したスポーツ、トレール、スノーモビルなどの各フロアは文字どおり黒山の人で埋まり、係員も汗だくの応待で二輪車館唯一の人気をうけとめたものでした。

# ヤマハスポーツGL750

オートバイ・ファンのみならず、二輪車館を訪れたすべての人の目を奪い、足をとめさせたのは「ヤマハスポーツGL750」。

ヤマハ技術の一端をとくと見ていただこうと参考出品されたものですが、水冷4気筒並

列、燃料噴射、トルクインダクション（7ポート+ピストンリードバルブ）2サイクルのエンジン技術、そして洗練された車体構成に殆んどの人が衝撃をうけた様子で、しばし息をのんで見とれていたのが印象的でした。



# 衝撃の新技术

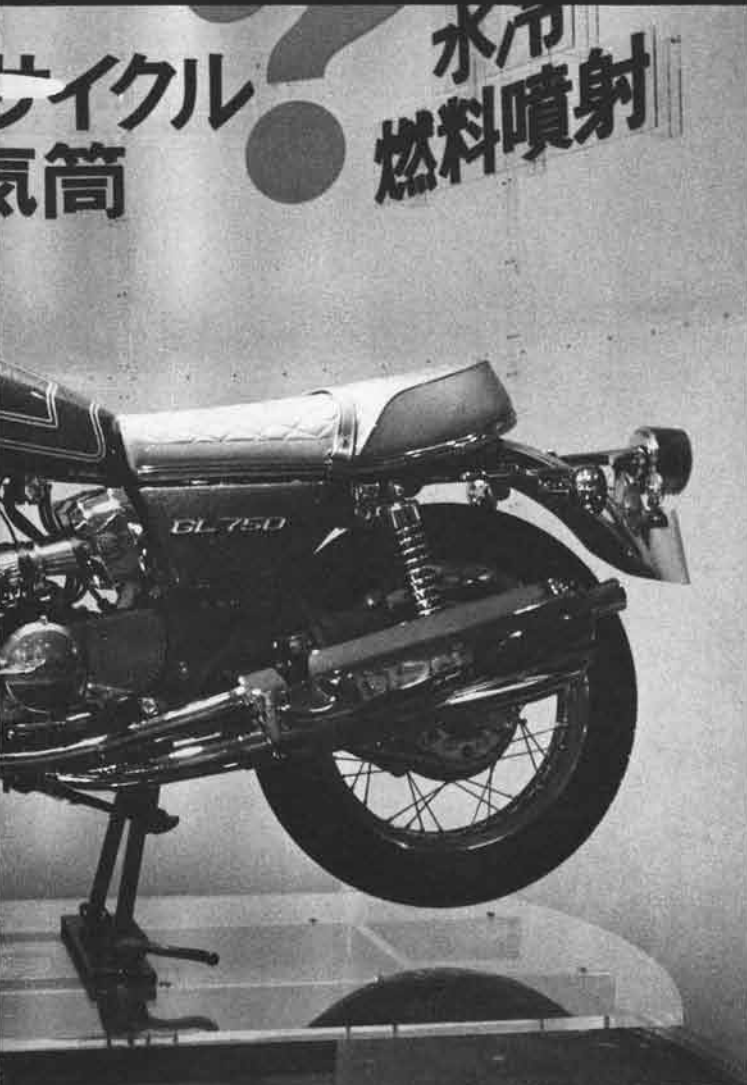
参考出品





# ヤマハスポーツGL750

参考出品



▲「このままのカタチで最高……」とはあるマニアの声。ちなみに車体寸法は全長2190mm、全巾920mm、軸間距離1450mm。重量は205kg。



いかにも乗りやすそうなタンク、そしてパネル付のメーター、パイロットランプ類。このGL750にヤマハのすぐれた技術の結集をみたという声が多かった。

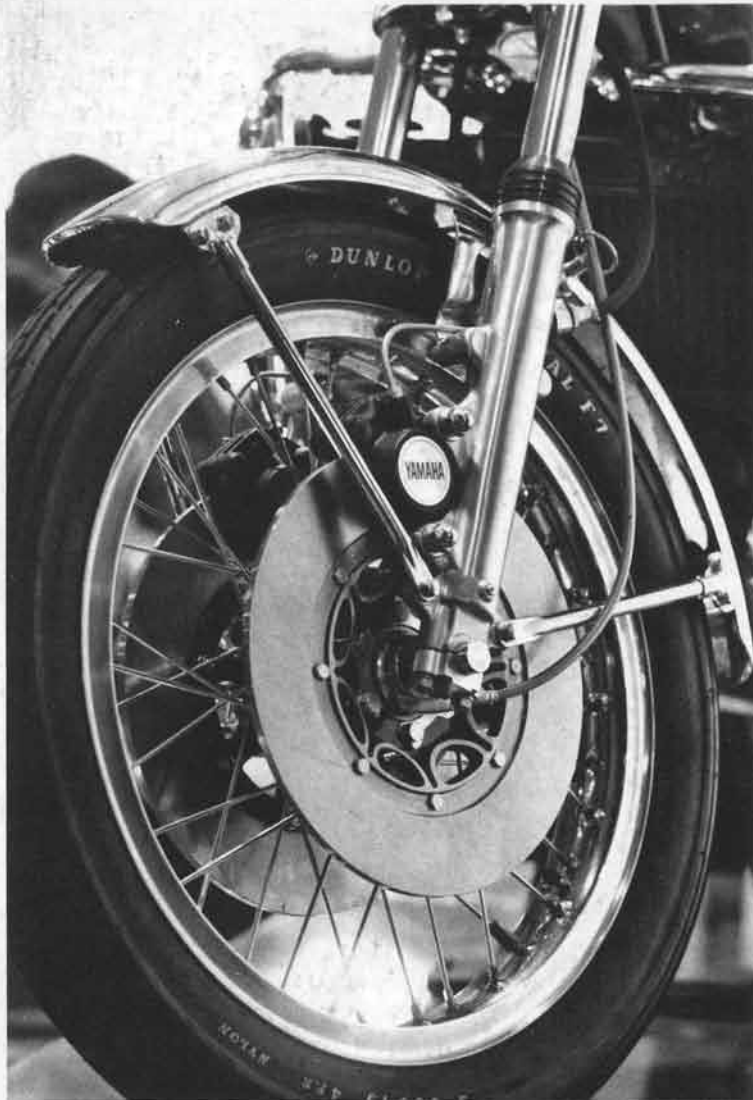


燃料噴射式のため、キャブレターはない。4気筒は内径65mm、行程56mmの総排気量743ccで、出力性能は70PS/7000rpm以上、7.5kg/m/6500rpm。

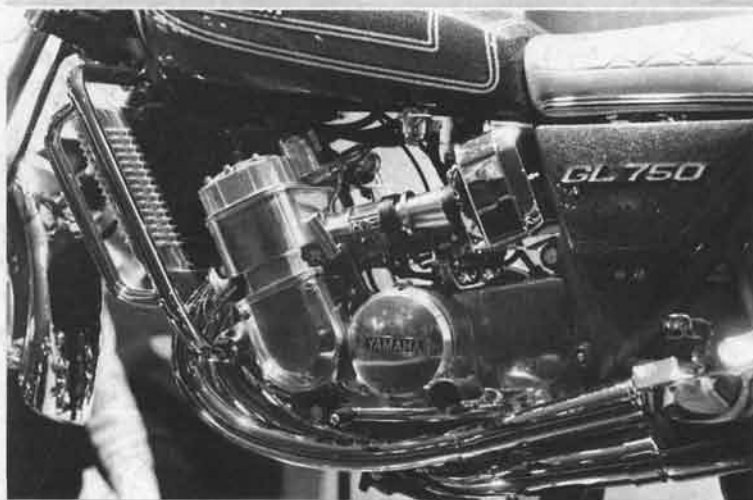




# 衝撃の新技术



ゼロヨン？ 最高速は？ と矢つぎばやの質問攻めも、前輪ダブルの油圧ディスクブレーキで納得。タイヤはフロント3.25-19、リヤ4.00-18。



「さすがYAMAHA！ 4気筒とは考えられないほどコンパクトにまとめている」「水冷だろう、だから各気筒の間が詰められる」「それにクランクにはダイナモがついていない。だからエンジン巾はぎりぎりにせまい」「うん、これは最新の設計だ！」——ファンは目を確かでした。

▶ 独特の形状をした大型マフラー。その容量からなにか新技术が……という見方をしていた。専門家もいた。ともあれ話題のGL750だ。





連繋するメカニズム、それは7ポート+ピストンリードバルブの“トルクインダクション”システム。もちろん

新開発のモトクロス用キットパーツにも受継がれているヤマハだけの新技術だ。

# 連覇を新技術!

参考出品

# キットパーツ組込みでハイ・チューンの ヤマハトレールランド スペシャル

「キットパーツをつけたらパワーはどう?」  
モトクロス界の大御所、忠さんこと鈴木忠男  
ライダーも説明におおわらわ。



まったく新しいオートバイとしてヤマハが  
トレール車を発売して4年、世界に新しいモ  
ータースポーツの世界をひらきましたが、こ  
れはその主役を演じ、いまもまた活躍めざま  
しいDTをベースにしたモトクロス型。いわ  
ばDT250-Rを豊富なキットパーツでハイ・  
チューンした実戦的マシンです。

モトクロスの人気が高まっている折からこ  
の「ヤマハトレールランドスペシャル」に対  
する注目度は大きく、「どうしたら手に入る  
か——」と熱心な口調で係員にせまるお客さ  
まが多かったものでしたが、これは最寄りの  
スポーツ店でキットパーツを購入、改造依頼  
をすれば、このようなモトクロッサーになる  
というサンプルです。



ブラックマスクのエンジン部が強烈なイメージを生ん  
で好評だったキット組込みの250ccモトクロッサー。



ずばり一言、男のカタチ——ヤマハトレール。

'71モトクロス日本GPの熱戦譜をマルチテレ  
ビで見るお客さま。ヤマハでは4個所にこの  
マルチテレビセットを設け、モトクロス、T  
Tレース、スノーモビルダービー、安全運転  
の映画を放映した。

XS650-Eを頂点に、90ccまで一連のXがついてますます充実されたスポーツシリーズをはじめ、“らくらく”で一躍その名を高めたメイト、名声のトレール、小さくて大きい

中みのミニ、タフなビジネスと、ヤマハの兄弟仲間は多士済々。そこでまた人気の的に。いっぽうではヤマハ交通安全教室の拡充ぶりもあって、まさに話題づくめのヤマハでした。



「新しい発見 2&4」も安全第一から。正しい運転テクニックと正しい運転マナーをテレビで見るとお客さま。



# 新しい発見2&4

2サイクルがある

4サイクルがある

かぎりなくモータースポーツの世界  
を広げる YAMAHA



「こいつが最大のトレールだ」「うん、いかすぜ」 レバーにかける手さばきもみことなベテラン・ライダーのお客さま。お次はRT360をどーぞ!

女性層にだんぜん人気のあったのがヤマハメイト。そこにあるから……という感じではなく、みなさん自分のものとして考えていた。

若いお客さまにモテモテのYAMAHA。今年のショーでは例年になくオートバイに積極的な若い人の姿が見受けられた。



こちら技術相談兼ヤマハ安全教室コーナー。忠さんがヘルメット診断をやれば、大月信和インストラクターは免許の取得やスノーモ

トビリングの相談に、その隣りでは河崎裕之ライダーがファンの応待にせつせとサインを……人気のヤマハコーナーです。

年齢制限からオートバイはまだちょっとというヤングにはヤマハミニが最高の相手。ミニだけのレースをひらいたら……の声も多かった。

新しいスノー・アクションをつくりだして好評のヤマハスノーモビル。今回のショーには実用型のS-350C、レジャー向けのS-300Bに加えて、スポーツ型のSL-292Bや本格的スポーツマシンのGP-396、GP-433も登場、ヤマハ技術のレパトリーの巾広さを示

して話題を独占したものでした。

スキー人口は、このところ急上昇。それだけにスノーモビルに対する関心度は高く、スノーモビリングについてもいろいろな質問が寄せられ、活気ある場面をみせていました。



'71 イーグルリバー  
世界選手権獲得



「ほう、これで雪の上をとばすのか……」  
「ただだけでも胸がすく、といった感じ。」  
思



# 雪の新世界をひらく

## ヤマハスノーモビル シリーズ

「なるほど、こう座ってねえ……」



新しい乗物、スノーモビルに大いに興味を示された皇太子殿下。  
71イグザリバーにおけるヤマハGP433の勝利の場面を立ちどま  
ってご覧になった。(殿下の左はご案内役のヤマハ発動機・小野常務)



「ゴムのキャタピラをはいているのか」  
ハイ、それをトラックというのです。



「これはいい、格好の被写体」…と  
ヤマハをねらう報道カメラマン

ヤマハスノーモビルを囲んだ人、人、人。雪  
の新世界をひらくスノーモビルに多くの期待  
を寄せているお客さま方だ。



★楽しいショーの立役者★

# みんなのヤマハ・技術のヤマハ



トレールの世界、大自然の世界。ヤマハ・オリジナルのバギーも登場して人気は最高潮。↑

↓「ほう、トレールの世界にバギーも参加か」のお客さまの声。



かたちは小さくとも、なかみはでっかいヤマハミニ。ヒョウとならんでの展示です。



YAMAHA のマークに、大きな信頼が寄せられる、技術のヤマハなればこそ。

市販レーサーとして世界最強と折り紙つきのTD。ことしもヨーロッパ各地のGPレースで活躍し、またまた世界GP250cc級のチャンピオンシップを獲得。兄弟車のTRは同じく350cc級の第2位に。技術のヤマハ

ハがここにみられます。

また新しくトレールの世界をきりひらいたヤマハ。ともすると見失なわれがちな自然との対話を可能としたみんなのヤマハです。

71マン島TTレースを3クラス制覇したのがことしのヤマハ。テレビを見つめる目、マシンを見つめる目、いずれも熱っぽく真剣。



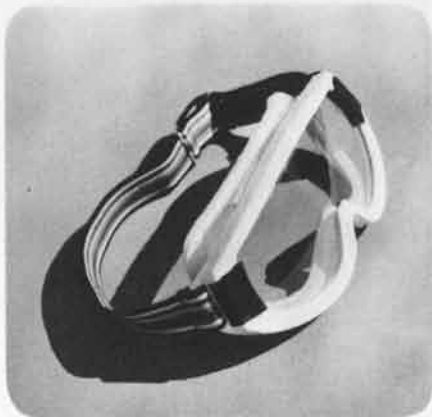
# スノーモビル

## ニュース

年々たかまる冬のスポーツレジャーにあって、とくに若者たちの人気をあつめて好評なのがスノーモビリング。そこで、ヤマハではSLクラブと日本交通公社とのタイアップによる“エース・スポーツシリーズ”に参画、雪積地において大々的なスノーモビル教室を展開、PR(うら表紙はその一例)してまいります。バスで、列車で、冬のSLを求めて積雪地向う若人、家族づれの方々にスノーモビリングの楽しさを十分に味わってもらおうというわけです。

また、2シーズン目をむかえたMFJ(日本モーターサイクル協会)の全日本選手権スノースクラムブル大会は、1月15~16日札幌テイネから4戦シリーズでひらかれます。ひと口にいて、スノーモビルのモトクロスといえるこのレースはマスコミ界をにぎわし、これまた多くの若者たちの人気をあつめることになるでしょう。

レース開催種目は300cc、400cc、オープンの3クラスでタイトルを競いますが、世界選手権をかちどったGP 433をはじめGP 396、SL 292 Bのオフロード専用のスポーツマシンや、一般向けのS-300B、S-350Cなど、ヤマハスノーモビルの活躍が期待されています。



●スノーモビルゴーグル ¥1,700



●スノーモビルグローブ ¥3,600



●スノーブーツ男子用 ¥5,200 女子用 ¥4,800



●スノーブーツ男子用 ¥5,000

自然が白一色につつまれて、いよいよ活躍をはじめるのがヤマハスノーモビルです。

何かと制約の多い雪国の生活に密着し、戸外に活動の場を広げて好評のスノーモビルはいまや積雪地の生活必需品としての地位を確保。いっぽうその機敏な行動性は冬の新しいレジャーをつくって若者たちの人気をあつめています。

これは、この魅力あふれる商品をさらに安全に、より使いやすいものとしてヤマハが開発したスノーモビル用品です。

お客さまのご要望に応じて、冬のご商売をさらに積極的におすすめください。



●スノーモビルボディカバー ¥4,000



# ランプリで圧勝!

二重勝でMVPを確定的にした金谷選手

よゆうたっぷり快心のゴール! ②金谷選手はセニア90、同 251にHT1、RX350で優勝、この日ただひとりの二重勝を飾ってMVP(最優秀選手)賞を確定的なものとした。

秋たけなわの十月十六、十七日、絶好の日和のもとにひらかれた「日本グランプリロードレース大会」は、久しぶりに手に汗をにぎるデッドヒートの連続で、鈴鹿サーキットをうめた大観衆を魅了した。

レースは九〇、一二五、二五〇、二五一cc以上の四クラスで、ノビス部門の四レースと、ジュニア、エキスパートジュニア、セニアの九〇/一二五cc混合と、同二五〇/二五一cc以上の混合の都合六レース。

このグランプリをもってMFJ全日本選手権シリーズは終わり、年間のランキングが決定され、またヨーロッパ行きの最優秀選手も決まるとあって、参加選手の意気込みもすさまじく、各クラスとも熱のこもったレース展開をみせた。

なかでも、ジュニア/セニア部門の混合レースは今大会のメインイベントでもあり、手に汗をにぎるスリリングな場面をずい所でみせ、あつまった大観衆をわきにわかせた。

もちろんそのエース役を果たした多くはヤマハ車のライダーで、セニア全クラスの優勝を独占したのははじめ、十六クラスのうちの八クラスに優勝し、入賞率も四割をこえるめざましさを注目をあつめたものであった。

なお、グラนด์スタンドの一角にはおなじみトレールハットをかぶったヤマハSレクラブの一行が陣どり、熱心にレースを観戦していたのが話題をよんでいた。

ジュニア、エキスパートジュニア、セニア合同の90cc/125cc混合レースでセニア125ccに優勝の②大脇俊夫選手（ブレイムイトレーシング）と総合2位でセニア90ccに優勝の金谷秀夫選手（スポーツライダース）。大脇選手はセニア250ccにも2位に入賞している。



D X 250で快調にとばすセニア250cc優勝の高井幾太郎選手（ブレイムイトレーシング）。彼はセニア90ccにも出走、2位に入賞した。

# 日本選手権

会も観戦★★★★



後半にトップを奪還、次第に独走体制をかためてセニア251ccに優勝した③R X 350の金谷秀夫選手。④はホンダ500の隅谷守男選手（テクニカルスポーツ）で、三室恵義選手について3位に入賞した。



おなじみ、トレイルハットをかぶってスリリングなレース展開に手に汗をにぎって観戦のヤマハSレクラブの面々。

# われらの道 ヤマハの道



できたぞ、われらのスポーツランド！ 喜びのあふれるフレンド店のみなさんと、応援にかけつけたヤマハ茨城のスタッフ。

われらのスポーツランドがオープン  
《茨城県の11フレンド店が協力》

モーターサイクルスポーツを愛するヤングに、自由にトール走行を楽しめる場所を開放しようと、茨城県のヤマハフレンド店十一店が協力して建設をすすめていた那珂湊スポーツランドが十一月七日にめでたくオープン。盛大なフェスティバルを開催しました。

このスポーツランドの会員には、ヤマハSLクラブにも加入してもらい、ヤマハトレイルランドと連携をもちながら、愛されるモーターサイクルスポーツをひろめています。

同時に、運転免許教室の正しい乗り方講習会など、フレンド店の販促につながるいろいろな行事に、このスポーツランドを活用していくことになっています。





スポーツランドを運営する11のフレンド店さん。



「コースづくりだ、エンヤコラ」

オープンに先立って安全を祈願。





50人近い選手が参加して、モトクロス競技をきそ。



水戸から東南へ約十五キロ。那珂湊海水浴場からほど近い山林をきりひらいて「那珂湊スポーツランド」は建設されました。モーターサイクルスポーツの振興に意欲的な十一のヤマハフレンド店によって開設され、運営されるスポーツレジャーの場です。十一人のフレンド店さんを代表して、クラブの会長である金沢輪店さん（那珂湊）に、開設までの苦労や、今後の運営のやり方などについて語っていただきました。

#### ▼これで無免許運転も減らせます

——以前から、こういう施設がほしいと、水戸の中央オートサイクルさんなどと話し合い、土地を物色していたんですが、なかなか見つ

からずに困っていました。無免許で道路を走ったり、海岸をとばしたりする少年もいて、警告をされることもずいぶんあったんです。

たまたま、那珂湊レジャーセンターの社長さんが、ヤングのスポーツレジャーに理解と関心を持っていて、隣接した個人所有の山林を借してくださることになったんです。

ほかの販売店さんにも相談したところ、賛同する方が多く、結局、十一店のヤマハフレンド店が協同で運営していくことになりました。

いろいろな機会に顔を合わす、親しいメンバーばかり。今日のような催しでも、みんな力を合わせれば、大勢の人を集めることができますしね。

#### ▼地元の少年たちがコースづくりに協力

——整地やコースづくりには三カ月かかりました。ヤマハも協力してくれましたが、地元の少年たちが、日曜日ごとに二十人も集まって、山の木を伐採したり、コースのアイデアを考えたり、一生懸命でした。

最初は、これだけの規模は考えていなかったんですが、コースも全長六百メートルのもので、中央には広場もつくれました。

#### ▼父兄の認識も深まりました

——このランドができたおかげで、トレールで自由に走っても、他人に迷惑をかけることがなく、ケガ率も少ないので、親たちもう



地元の有川インストラクターをむかえて、トレール教室。



腕はノービス、コースはセニア。こりゃあ、きつい！



おつきはパン喰い競争だ。こりゃあ、いそがしいね。

るさくいわなくなりました。

これから育つ子供たちが、モータースポーツをつうじて、運転の基礎をしつかりマスターして、社会に出てもらいたいものです。

### ▼クラブ員はSL会に入会

——運営に当っては、日立太田にあるトレールランド茨城と両立させていきたいと思っています。

クラブの会員にはSLクラブにも入ってもいい、トレールランドへ行っても自由走行できるし、いろいろな行事にも割引きで参加できる。あるいはトレール教室などをつうじて指導してもらおうというシステムです。

もちろん、トレールクラブの会員も、那珂湊スポーツランドを利用できます。

会費はSLクラブ費を含めて、年間二千元。十一の販売店をつうじて、クラブ員を募集しています。

一日三百円を納めれば、一日、自由に走行できる仕組みで、会員証のチェックなどは、那珂湊レジャーセンターでしてくれます。そこには食事や入浴の設備もあるので便利です。

### ▼これからは販促につながる行事を

——われわれ販売店は、商人ですから、どうしても、話は儲けにつながるほうにとびがちですが、最初はある程度犠牲になっても、こういう場所を開設しようではないかと話合ってきたんです。宣伝費だと思ってやっていこう、というわけです。

おかげで、ぶじにオープンしましたし、これからは、フルに利用していつてもらいたいですね。販売につながることをどんどんやってもらいたいと思っています。

### ▼有益で多彩な行事を開きたい

——レースばかりでなく、いろいろな遊びをつうじて、少年たちと接触する機会をつくりたい。

また、このスポーツランドで、安全運転の講習会なども開きたいですね。こういう路面で練習をすれば、町へ出ても安全な運転ができます。このランドの開設によって、無免許運転もなくせると期待しているんです。

## レジャーはヤマハで ブリジッド・バルドール

パンチのきいた性能を内に秘めるヤマハト  
レールの流麗なデザインが、世界の恋人べべ  
の心をとらえました。

南仏カンヌでバカンスを楽しむ彼女の毎日  
の散歩にヤマハ一二五A T I が愛用されてい  
ます。

スペシャルメードのライディング装備をつ  
けた姿はさすがにすっきりしたのですが、  
スマートなヤマハとの組合せで、彼女の容姿  
がいつそう引き立っていますね。

女優とオートバイ、十年前まではおよそ考  
えられない組み合わせでしたが、アクセサリ  
的な意味でオートバイを愛用する銀幕のスタ  
ー達がふえてきました。

実用面、レジャー面とは別のオートバイの  
新しい効用だといえます。







## 60%の市場占有

ブラジル

ノックダウン方式の生産が行なわれている南米ブラジルにおけるヤマハ製品の最近の伸びは特にめざましく、すでにオートバイ市場占有率は六〇%に達しました。

写真はサン・パウロ市のヤマハディスプレイセンターの店開きのシーンですが、この店の売りあげはブラジル一番で、業務拡張のために、隣の建物を買収店の面積を倍以上にして、華々しくオープン。今後も拡販にせいを出そうと関係者一同大いに張切っています。

★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★

**B・ヒンドルがベストライダー**

**オーストラリア**

オーストラリアはロードレースが最も豊かな国の一つですが、ここでも、ヤマハTD2、TR2のライダーの活躍が群を抜いています。

各地のビッグイベントの上位を独占することが普通になっていますが、その中でもシドニーのエースB・ヒンドルが、連続首位の成績をあげて、今年のベストライダーになることが決定的になりました。

写真はアマロパークのオープンクラス五〇ラップを首位で完走、チェッカーフラッグをうけるヒンドル選手。





## 各地で盛況!!

スポーツクラブの  
SL活動

ラリー、ジムカーナ、トレール教室など、この秋はヤマハSLクラブやお店のスポーツクラブの活動が、全国各地でひととき盛大に行なわれました。

### 秋の夜に若人の祭典

〔九州支店発〕9月25・26の両日、ヤマハSLクラブ九州地方本部の主催で、大分県久珠郡の九重高原に、九州各地から一五〇名のSL仲間が集まる、やまなみツーリングフェスティバルが行なわれました。

各地からやまなみハイウエーを快適にツーリングしてきた仲間たちは、夜はガラリーとムードを変えてムーンライトフェスティバル。キャンプファイヤーを囲んで、有名タレントのディスクジョッキーとともに、コーラスにゴーゴーに興じたり、もっかライダーの間で人気を呼んでいるヤマハヤングルックの紹介なども行なわれ、バラエティーに富んだ催しで秋の一夜を過しました。

なお、このムーンライトフェスティバルの様子は、RKB毎日ラジオの30分番組として放送され、こちらでも大好評を得たものでした。

〔ヤマハ栃木発〕SLクラブ栃木県・古河支部では先頃、第一回SLラリー大会を開催、三〇名の参加者がスピードメーターと時計とのニラメッコの楽しいラリー大会をくりひろげました。

地元の青木モーターズさん、小野里輪業さんの協力のもと、古河↓三和町↓境町↓岩井町↓八千代村↓三和村↓結城市↓小山市↓野木町↓古河とまわって、午後二時ラリーは一件の事故もなく無事終了。

特に第一回目のため、参加台数こそ少なかったものの、今後のSL活動にきわめて大きな参考となったことばかり、なかでも「一般公道を走るため、クラブ活動のPR効果は最高」また「ルールに従って一般公道を走る楽しさを十分理解してもらえた」など第一回としては大きな成果を取めたSLラリー大会で今後が大いに楽しみなところですよ。

## PR効果最高の ラリー





## 新クラブ発足を 記念して

### ジムカーナ大会

〔東京支店発〕若いお客さまたちのスポーツ熱につれて、お店のスポーツクラブも大型化の一途をたどっているようです。東京都東村山市の中島モータースのクラブ「八国ライダーズ」もそんなクラブのひとつ。

最近では所帯が大きくなりすぎたために、新たにモトクロス愛好者のクラブ「関東エイトライダーズ」を結成するほどです。

そして9月19日には、新クラブ誕生を記念して、東村山市狭山丘陵でジムカーナ大会を開催しました。二つの姉妹クラブから集まった参加者たちは「赤」「青」「白」の三チームに分かれて、ジムカーナに、チーム対抗リレーに、はてはモトクロスにと、盛りだくさんのゲームを楽しみ、新クラブの発展を誓っていました。

## 仲間が 新しい仲間を…



〔大阪支店発〕活発なスポーツ活動につれて、スポーツクラブ員達の間から、「オレたちの手で仲間を育てよう」という動きも最近目立っています。

10月3日、京都の八日市トレールランドで湯浅自転車商会さんの五条坂ツーリングクラブが、80名の参加者を集めてトレール教室、ジムカーナ大会を開催しました。

愛車を駆って集まった仲間たちは、パン喰い競走、スローレースなどと心ゆくまで楽しんでいますが、仲間の中にはまだ免許もない車もないという人も少なくありません。

そこで、クラブ員たちは彼らのために、即席二輪車講習会を開いて、正しい乗り方の指導に当り大好評を博したというわけです。

これで、すっかりオートバイの魅せられた無免許の仲間たちは、「ヤマハ自動二輪免許教室」で「一日も早く免許を取るゾ」とはやくも胸おどらせています。

仲間が仲間を呼んで正しいオートバイの楽しみが広がっていく。頼もしい最近のスポーツクラブ活動です。

# ヤマハサービスコーナー

セールスの方、サービスの方、そして事務の方、お店のみなさんで  
ご覧ください。お客さまをお迎えしたときの「話のタネ」に絶好です。

## ディスク式オイルブレーキの構造

オートバイは快適に走るためのもの。だからこそスピードをコントロールするブレーキの重要性は大きく、その性能の良否が問題となります。

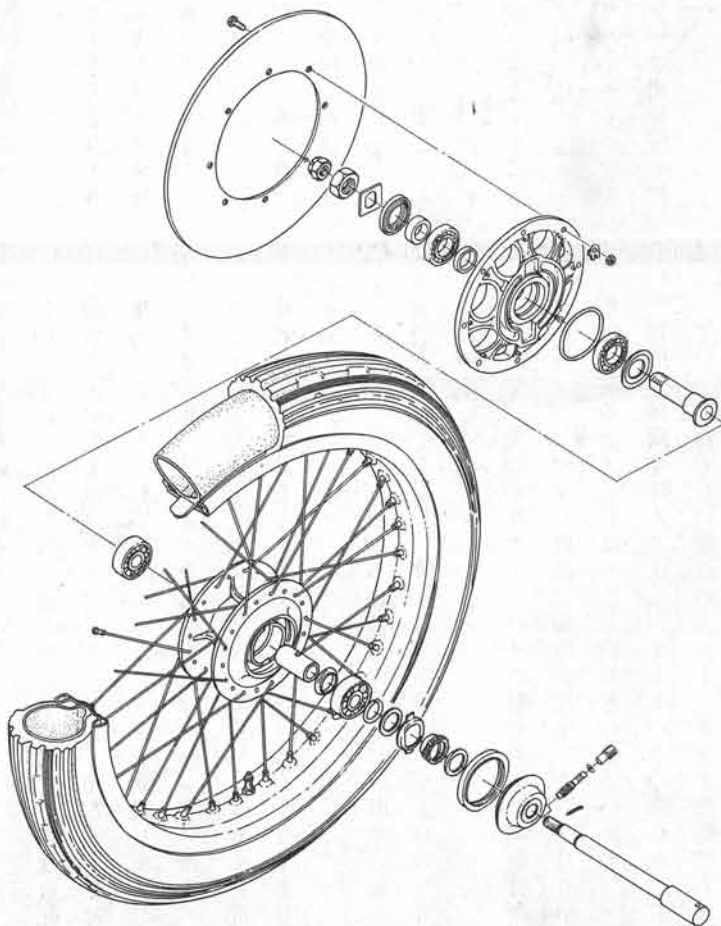
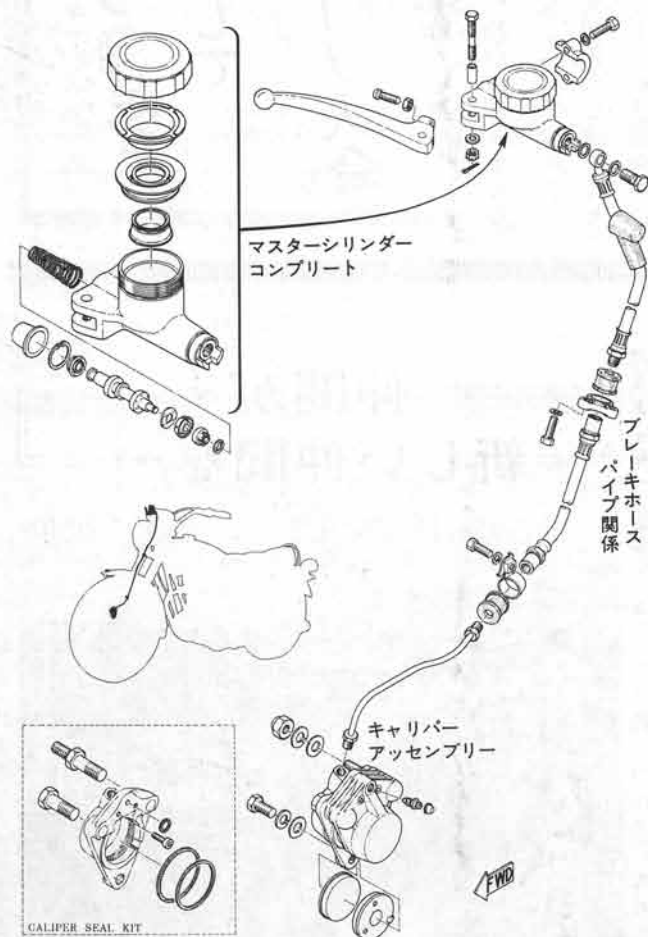
オートバイのブレーキというと、これまでは内部拡張式といってハブと一体化されたブレーキドラム内にブレーキシューをおさめ、これを押し広げてシューにはられたライニングをドラム内壁に圧着させてスピードをコントロールする方式が一般的でしたが、大排気量車による高速性能の向上によってオートバイにもディスク式ブレーキが採用されるようになりました。

しかもそれは、いままでのもののように機械的な仕組で操作するものではなく、油圧を用いたところに新しい技術の導入がみられるわけです。一般にディスク式オイルブレーキは四輪のスポーティ車やスポーツカーに用いられて広く知られていますが、

オートバイではなじみのなかったものだけに、サービスの任にあたる人はその構造、取扱い整備を熟知しておくことが肝要です。

そこでまず今号では、その構造を図によって紹介することにしました。

ハンドル右側にブレーキレバーとマスターシリンダーが取付けられ、対向ピストン型のキャリパーがフロントフォークに取付けられている。ディスクはブラケットに固定され、フロントハブとはクラッチ部を介して組付けられている。また油圧を伝えるブレーキホースとパイプがシリンダーとキャリパーをつないでいる。



# 18th TOKYO MOTOR SHOW

新しい発見2&4。2サイクルがある。4サイクルがある。かぎりなくモータースポーツの世界をひろげるヤマハ——充実さを増した一連のスポーツシリーズ



連覇するメカニズム——トルクインダクション ずらりそろったキツトパーツで組上げた「ヤマハトレールランドスペシャル」参考出品車。

雪の新世界をひらくヤマハスノーモビル——世界選手権を獲得したGP1433もショーに初登場で人気急上昇



圧勝！ ヤマハレーサー。世界GP250cc級チャンピオンのTDと同350cc級2位のTR。上のテレビでその活躍が……

男のカタチ——ヤマハトレール新しいスポーツレジャーを世界に広げて4年。まさに貴様のトレールシリーズ





●スノーモビルヘルメット ¥5,500 風防 ¥1,200

●スノーモビル帽子 ¥1,300

この豊富な用品で  
**スノーモビルが**  
**目立つシーズン**  
 行動する冬づくりを!



●ウィンタースーツ赤 ¥7,500 (M・L)

●ウィンタースーツ青 ¥7,500 (M・L)



●スノーモビルルック (普及品) ¥9,800 (青M・L)

●スノーモビルルック (ドレス) ¥13,000 (M・L)

●スノーモビルセーター ¥6,900 (サイズ)

●水あるところにヤマハ

お店にもおけるニューセールボート

# NEW YAMAHA-9

\*YAMAHA-9 (ヤマハナイン)  
はヤマハのオリジナルデザインによるまったく新しいセールボート。操作が手軽で、持運びが簡便。しかも性能は秀逸。ヨットはまったく初めてという人にもすぐに扱え、楽しいセーリングを満喫することができます。船体はもちろんFRP製。二重構造、浮体入りの安全設計で、アルミ・マスト、テトロン・セールなど、艦装はすべて耐久性に富んだ第一級品。ヤマハ船外機P-45を取付ければヨットからボートに、またオールをつければ手軽な手漕ぎボートに早変わり。水あるところにヤマハ——をつくりだすYAMAHA-9をお店でどうぞ\*

## YAMAHA-9 <仕様>

- 全長 2.7m
- 最大巾 1.42m
- 深さ 0.41m
- 重量 60kg
- 定員 2名
- 帆面積 3.7㎡
- 吃水センターボードあげ 0.08m
- 同 下げ 0.63m

### 〔価格〕

13万円 (マスト・セール・オール/ほか付属品を含む)  
ヤマハ船外機(P-45)  
3万9千円



交通公社のオリジナル旅行<エース>—募集中

# 行動する冬

ヤマハは日本交通公社とタイアップ、雪のシーズンを利用し、各地でスノーモビル教室を開催します。これは、そのPRポスター。

新しい雪のスポーツレジャーをつくる立役者として注目をあつめているスノーモビルにさらに多くのファンを生みだす企画です。

行動する“冬”



エーススポーツシリーズ

## スノーモビル教室

 日本交通公社



ヤマハスノーモビル